

二級河川本郷川水系河川整備計画アンケート結果と
河川整備計画への反映

広島県

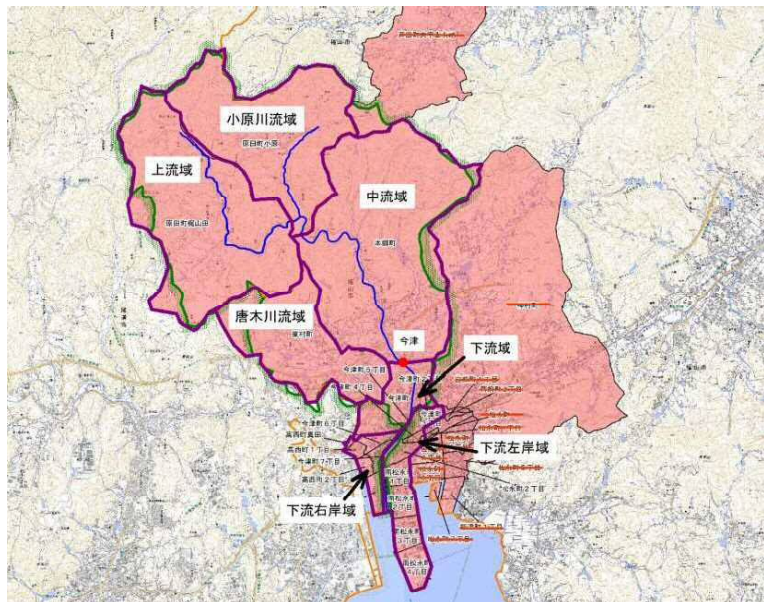
目 次

	頁
1. アンケート調査概要	1
2. アンケート調査票	3
3. アンケート調査結果	5
3.1 基本属性	5
3.2 川に対して感じていること	9
3.3 洪水に対する防災意識について	10
3.4 その他（自由意見）	13
4. アンケート調査結果と河川整備計画本文への対応	15

1. アンケート調査概要

(1) 調査対象者

アンケート調査は、紙媒体の調査とWEB調査を実施した。紙媒体では発注者との協議のもと、流域内及び氾濫原の各世帯を対象として日本郵便株式会社のサービスである「タウンプラス」を使用し、WEB調査では広島県HPに公開し回答を得るものとした。



アンケート配布範囲

※流域及び氾濫原に関わる対象の地域とした上で、50%以上を占める地区を設定するとともに、氾濫原からも距離がある場合は、JR等による詳細範囲を設定し配布した。

配布にあたり、本郷川流域の上・中・下流がわかるよう地域分類を実施した。

(2) 配布数

<紙媒体>

8,330部：日本郵政株式会社の各戸郵便受け設置数による集計

<WEB媒体>

無制限：広島県HPに紙媒体と同じ内容のアンケート（Excel形式）を掲載

(3) 配布方法

紙媒体の配布方法は、次のとおりとした。

【配布方法】：タウンプラス（角2封筒）

【配布資料】：整備計画説明書（A3カラー両面2つ折）、アンケート調査票（A3白黒両面2つ折）、返信用封筒

(4) アンケート調査期間

アンケート調査期間は、次のとおりとした。

令和元年11月25日（月）～令和元年12月9日（月）（15日間）

(5) アンケート回収率

アンケート回収率は以下のとおりである。

形式	配布数	回答数	回収率
紙	8,330通	1,833通	22.0%
WEB	無制限	2通	-

※令和元年12月15日消印のあるものを対象とした。

2. アンケート調査票

アンケート調査票は、以下に示すとおりである。

■河川整備計画とは・・・

【河川整備計画について】
河川整備計画は河川法により、概ね今後30年間の、本郷川水系の整備の内容と区間の計画を策定し、地域の皆様のご意見を踏まえて、お示しするものです。

図 計画策定の流れ

＜連絡先＞
広島県 東新建設事務所
担当者 工藤 謙 岡崎 博典
〒720-8511 福山市三吉町一丁目1-1
TEL (084) 821-1311 FAX (084) 831-8230

広島県

広島県からのお願い

本郷川水系の川づくりについて
みなさんのご意見をお聞かせください！

日頃より、広島県行政の推進にご協力いただき、御礼を申し上げます。
本郷川水系では、近年では、平成30年などに、豪雨に伴う河川の溢水による浸水などの被害が発生していることから、広島県では「本郷川水系河川整備計画」の策定を予定しています。
計画策定に際し、地域の皆様の日頃からの感じていることや川に求めるものなどを広く伺い、計画策定の参考とさせていただきますためにアンケート調査を行います。
より良い「川のありかた」の検討のため、ご協力をお願い致します。

別紙「アンケート調査用紙」にご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返信してください(切手は不要です)。

※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ、利用いたします。
※ アンケート調査の結果は、「第21回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。
※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。
※ アンケート調査用紙は広島県東新建設事務所でも入手可能です。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/seibekikaku-rakukome.html>
(「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索もできます)

本郷川の概要

河川と流域の概要

本郷川は、東広島市、福山市の2市から構成される流域幅約3.4km²、流路延長約13.0kmの二級河川です。その流域は、途中、支川小原川を合流し私水橋にはいります。
流域の土地利用は、約7割以上を山林が占めており、河川沿い及び河口付近に農地や宅地が存在し、特に福山市本郷町・多摩町の下流域にあたる流域において河川沿いに家屋が建ち並んでいます。

浸水被害の発生状況

近年(平成10年)の主な浸水被害

年月日	成因	被害箇所(橋)	浸水	計
H10.8.13~16	豪雨及び台風10号	1	20	21
H11.8.22~7.4	梅雨前線	0	26	26
H30.1.6	梅雨前線	0	3	3

本郷川の河道状況

①0k3付近より上流を望む

②0k4付近より上流を望む

③6k2付近より下流を望む

④7k4付近より下流を望む

⑤8k4付近より上流を望む

⑥12k2付近より下流を望む

アンケート調査用紙

この用紙は、本郷川水系の河川整備計画の策定に際し、地域の皆様からご意見を伺うためのものです。ご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返信してください(切手は不要です)。

〒720-8511 福山市三吉町一丁目1-1
TEL (084) 821-1311 FAX (084) 831-8230

広島県 東新建設事務所
担当者 工藤 謙 岡崎 博典

別紙「アンケート調査用紙」にご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返信してください(切手は不要です)。

※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ、利用いたします。
※ アンケート調査の結果は、「第21回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。
※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。
※ アンケート調査用紙は広島県東新建設事務所でも入手可能です。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/seibekikaku-rakukome.html>
(「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索もできます)

お願い

本郷川水系の河川整備計画の策定に際し、地域の皆様からご意見を伺うためのものです。ご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返信してください(切手は不要です)。

〒720-8511 福山市三吉町一丁目1-1
TEL (084) 821-1311 FAX (084) 831-8230

広島県 東新建設事務所
担当者 工藤 謙 岡崎 博典

別紙「アンケート調査用紙」にご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、令和元年12月9日(月)までに返信してください(切手は不要です)。

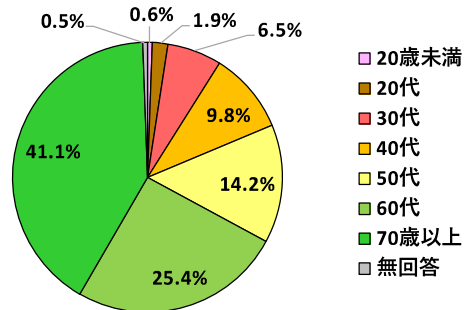
※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ、利用いたします。
※ アンケート調査の結果は、「第21回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。
※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。
※ アンケート調査用紙は広島県東新建設事務所でも入手可能です。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/seibekikaku-rakukome.html>
(「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索もできます)

3. アンケート調査結果

3.1 基本属性

質問 1. あなたの年齢を教えてください。

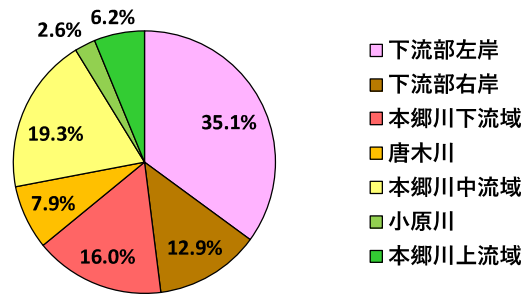
回答した人の年代で最も多いのは「70歳以上」であり、続いて「60代」、「50代」の割合が高く、60歳以上の回答者が全体の約70%と高い割合を占める。



回答数 1,835

質問 2. あなたのお住いの地域を教えてください。

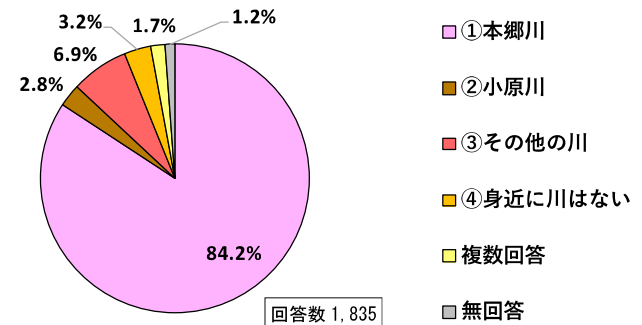
本郷川の下流氾濫原左岸・右岸が約48%の回答を開けており、次いで本郷川中流域が約20%の回答を占めている。



回答数 1,835

質問 3. 本郷川水系において「身近な川」はどれですか

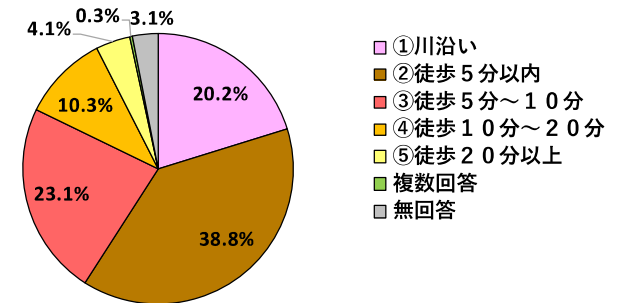
身近に感じる河川としては、本郷川本川が約85%を占める。



回答数 1,835

質問 4. あなたが現在お住いの場所は、「身近な川」からどのくらいの距離ですか

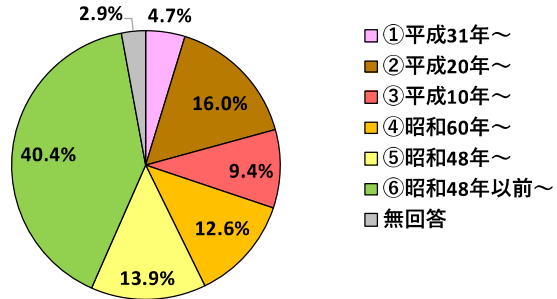
川から徒歩5分以内と回答した人が約60%と過半数を占める。



回答数 1,835

質問 5-1. あなたはいつから現在の場所にお住まいですか

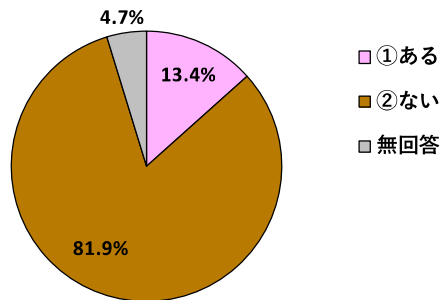
「平成9年以前」から住んでいると回答した人が約65%を占め、平成11年出水以前から居住されている方が多い。



回答数 1,835

質問 5-2. 現在お住まいの場所で水害を経験したことがありますか

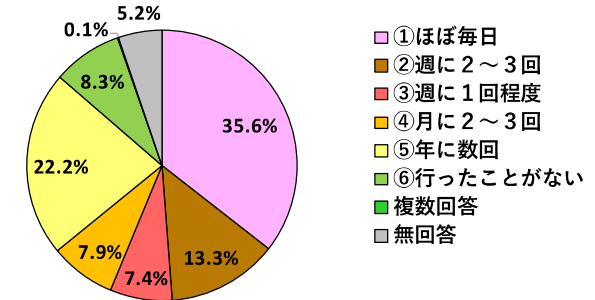
水害を経験したことのある方が約15%、経験したことのない方が約80%である。



回答数 1,835

質問 6. 「身近な川」を訪れるのはどの程度ですか

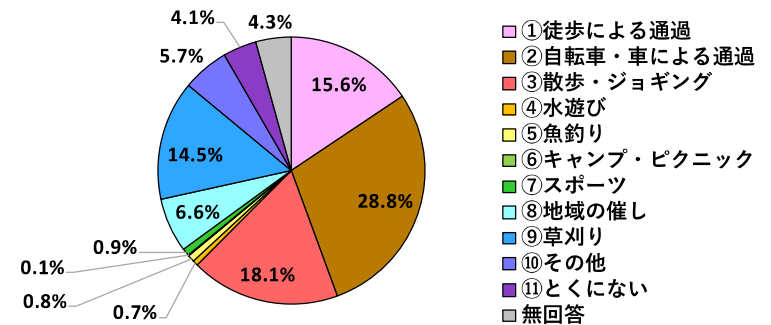
「身近な川」を訪れる頻度について、週に2～3回以上が約半数を占めている。一方で、年に数回以下が約30%を占めている。



回答数 1,835

質問 7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

「身近な川」を訪れる主な目的としては、徒歩や自転車・車による通過が約45%を占め、最も多い。次いで、「散歩・ジョギング」(約20%)、「草刈り」(約15%)が多い。



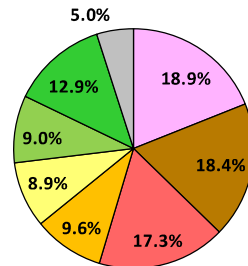
回答数 2,812
複数回答

3.2 川に対して感じていること

質問 8. 現在、「身近な川」に対してどのように感じていますか

現在、「身近な川」に対してどのように感じていますかという問いに対して、本郷川水系においては「水害が起こらず、安心できる川である」、「色々な動植物が生育・生息している、自然豊かな川である」、「水辺で休息・散策でき、遊べる川である」がそれぞれ約 20%と高い割合を占める。

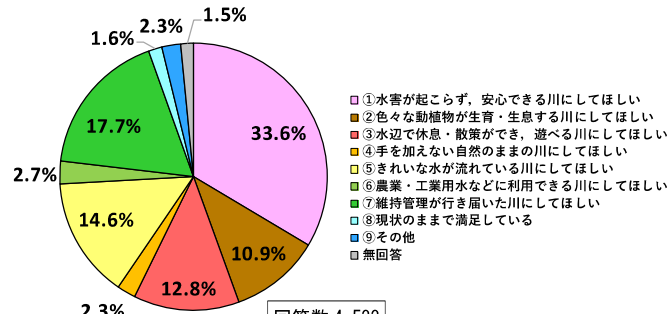
- ①水害が起こらず、安心できる川である
- ②色々な動植物が育成・生息している、自然豊かな川である
- ③水辺で休息・散策でき、遊べる川である
- ④農業・工業用水などに利用されている川である
- ⑤きれいな水が流れている川である
- ⑥よく維持管理された川である
- ⑦その他
- ⑧無回答



回答数 2,878
複数回答

質問 9. 今後、川に対して特に何を期待しますか

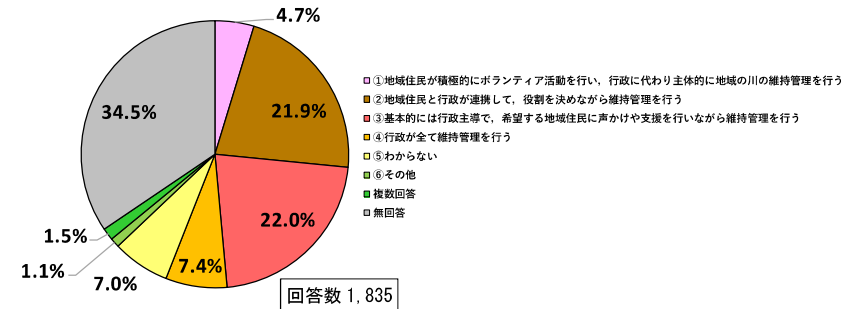
今後、川に対して期待することとしては「水害が起こらず安心できる川にしてほしい」が約 35%と最も多く、次いで「維持管理が行き届いた川にしてほしい」(約 20%)、「きれいな水が流れている川にしてほしい」(約 15%)が多い。



回答数 4,533
複数回答

質問 10. 平常時における川との関わり方に関する考えに、最も近いものを選んでください

平常時における川との関わり方に関する考えへの回答は「基本的に行政主導で、希望する地域住民に声かけや支援を行いながら維持管理を行う」、「地域住民が積極的にボランティア活動を行い、行政に代わり主体的に地域の川の維持管理を行う」がそれぞれ約 20%を占める。

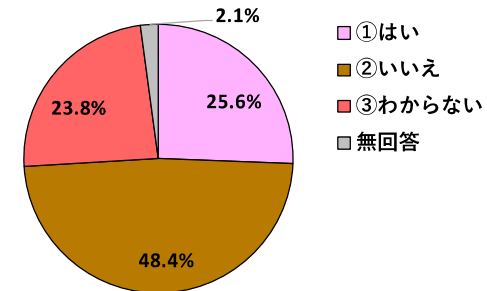


回答数 1,835

3.3 洪水に対する防災意識について

質問 11. あなたの住んでいる場所は、洪水に対して安全だと思いますか

住んでいる場所は洪水に対して「安全でない」と考えている人が約半数を占め、「安全である」と考えている人の割合は約 25%にとどまる。



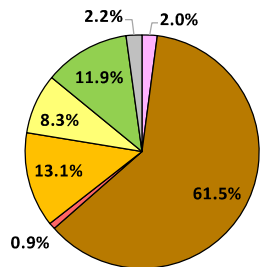
回答数 1,835

質問 12. 質問11で「①はい②いいえ」を選択した理由をお聞かせください

質問11の「①はい」の回答理由は「過去に洪水被害に遭ったことがないから」が約60%を占め、「②いいえ」の回答理由は「市町のハザードマップをみたから」が約30%と最も多い。

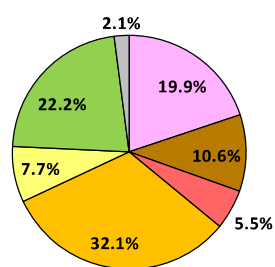
- ①過去に洪水被害に遭っているから
- ②過去に洪水被害に遭ったことがないから
- ③人に聞いたから
- ④市町のハザードマップをみたから
- ⑤なんとなく
- ⑥その他
- 無回答

「①はい」を回答



回答数 540
複数回答

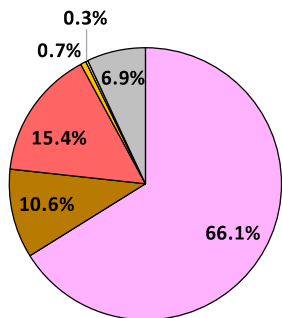
「②いいえ」を回答



回答数 1,068
複数回答

質問 13. お住いの地域のハザードマップを見たことがありますか

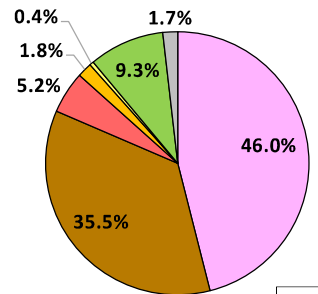
ハザードマップを見たことがある人は約65%と高い割合を占める。



回答数 1,835

質問 14. あなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

防災情報の収集を行う際に、最も利用するものとしては「テレビ・ラジオ」(約45%)とインターネット(約35%)が多い。

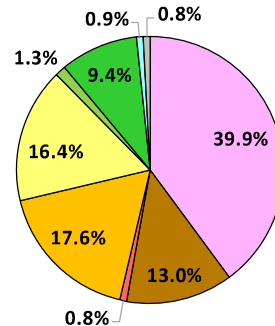


- ①テレビ・ラジオ
- ②インターネット (パソコン・携帯電話・スマートフォン)
- ③市町の防災無線・広報車
- ④周囲の人から聞く
- ⑤その他
- 複数回答
- 無回答

回答数 1,835

質問 15. 防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

回答者の約40%が「テレビ・ラジオ」で防災に関する知識を入手している。次いで「インターネット」(約20%)、「自治体などのパンフレット」(約15%)、「新聞・雑誌」(約15%)が多い。



- ①テレビ・ラジオ
- ②新聞・雑誌
- ③学校での教育
- ④インターネット
- ⑤自治体などのパンフレット
- ⑥自治体やNPOなどによる講演会
- ⑦自治会など地域の集会
- ⑧その他
- 無回答

回答数 3,636

3.4 その他（自由意見）

質問 16. その他、河川全般についてお気づきの点などありましたら、お聞かせください

自由意見について、本文の構成と同様に、「治水」、「利水」、「環境」、「河川情報提供」、「その他」に関わる分類を行った。
 なお、代表的な意見について、以下に列挙した。

回答数 645

治水に関する意見

- ・地震・津波時に何も対策されていないと思うので、不安です。
- ・排水影響により、本郷川に流れず、氾濫している。
- ・氾濫・決壊しない安全な堤防を作ってほしい。
- ・異常気象による大雨に対し、他人事ではなく不安である。
- ・急を要する箇所及び以前からの要求箇所を早急に整備してほしいです。

利水に関する意見

- ・尾道が断水だったとき、こちらは、水が利用できて助かった。

環境に関する意見

- ・河川公園にベンチや遊具、スロープ、駐車場などの施設が欲しい。
- ・蛭等、生態系にも配慮した河川整備を行い、多様性のある清流になってほしい。
- ・下水を流さないような対策が必要である。

維持管理に関する項目

- ・昔よりも河床が高く感じております。川の中の土砂や木など定期的に除去してほしいです。
- ・河川の点検を定期的に行って欲しい。
- ・橋梁復旧を急いでほしい。
- ・河川清掃をしています、高齢化や危険が伴うため、今後は県の方でもフォローしてもらえないか。

情報提供、地域や関係機関との連携等に関する項目

- ・洪水の予測や河川カメラの設置や早めの避難情報と避難指示をください。
- ・小学校の防災教育等の資料は、大変参考となりました。今後もそのような取り組みをつづけてください。

その他に関する項目

- ・行政の対応に不満がある。
- ・官地内の施設(不法占用)しているため、洪水時心配である。
- ・アンケートの調査よりも、施工を優先すべきである。
- ・アンケート調査の結果を公表してください。
- ・藤井川が安全かどうか教えてください。
- ・道路拡張やガードレール整備を整備してください。

住民意見の総括表

分類	住民意見の総括表	
	NC	具体的な内容
治水	1 全般	治水全般に関する意見・要望(下記のカテゴリでない治水全般の意見)
	2 高潮・津波対策等	高潮対策、津波対策、耐震対策の検討の要望
	3 内水・支川処理対策	内水氾濫させないような整備の検討に対する意見・要望
	4 整備手法	整備手法のあり方(河床掘削・樹木伐採・除草・護岸整備・堤防強化等)に対する意見・要望
	5 緊急要請	緊急の対応による災害に対する整備の意見・要望
	6 改修促進	確実に整備するよう働きかける意見・要望
利水	1 全般	利水全般
	2 河川利用	環境に関する意見・要望(下記のカテゴリでない環境全般の意見)
	3 敷設物	敷設物の設置に関する意見・要望
	4 水質	水質に関する意見・要望
維持管理	1 全般	維持管理全般に関する意見・要望(下記のカテゴリでない維持管理全般の意見)
	2 維持・撤去・維持・伐採	維持・撤去や樹木伐採に関する意見・要望
	3 除草	除草の手法や実施状況に対する意見・要望
	4 河川巡視	河川巡視に関する要望
	5 災害復旧工事	災害復旧工事に対する意見・要望
	6 河川清掃	河川清掃に関する意見・要望
情報提供	1 クラウド	災害時の情報伝達のあり方に対する意見・要望
	2 避難訓練等	災害時の対応に関する避難訓練の要望
その他 (本文に該当する内容)	1 土砂災害	砂防、治山に対する意見・要望
	2 アンケート	アンケート結果公表希望等の要望
その他	1 全般	行政に対する意見(危機感がない、住民意見が全く反映されない等)
	2 アンケート	アンケートの意義に対する意見等の要望
	3 地水系河川	地水系河川に関する要望
	4 浸水メカニズムの説明	個別箇所のメカニズム説明
	5 その他	その他
	6 用排水路等	ため池や用排水路、支流の管理に関する意見

4. アンケート調査結果による河川整備計画への反映

アンケート調査結果より、全 645 件の回答に対し、詳細に分類を行い、個別意見も含めて、河川整備計画への反映箇所を整理した。

なお、ご意見に対する具体的な対応として、二級河川本郷川水系河川整備計画(案)の本文について、修正及び追記を行った。

分類		意見概要	意見数	本文への対応箇所
項目	小項目			
治水	高潮・津波対策等	地震・津波時に何も対策されていないと思うので、不安です。	5	3.1(1) 追記
		満潮時には水位が高くて不安です。今より高くより強靱にしてもらいたい。	3	1/30年確率の波浪や耐震も考慮した
維持管理	維持掘削・樹木伐採	昔よりも河床が高く感じております。川の中の土砂や木など定期的に除去してほしいです。	207	3.2.1に追記 この計画に基づき、河川巡視や出水期前・出水後など適切な時期に点検を実施し、状態把握及び評価を行い、その点検結果を蓄積するとともに必要な対策を実施することで、「河川管理施設」の機能の維持に努めます。
その他	その他	官地内の施設(不法占用)しているため、洪水時心配である。	20	3.2.2(5)に追記し修正 本郷川流域のごみ等への対策については、河川の良好な環境を保つため、河川巡視により監視の強化に努めるとともに、河川の浄化運動や地域住民を対象に川についての理解を深めてもらう活動、そのほか占有者に対する適切な指導を行うなど、地域住民・行政が一体となり対策を検討します。